

2021年度 豊岡市・神戸大学共同研究

外国人市民に関する調査研究事業 最終報告会

2021年8月17日・豊岡市役所

2020-21年度調査研究の背景と概要

神戸大学 佐々木祐

本報告の構成

1. 日本における定住外国人
2. 豊岡市における外国人住民の特徴と変化
3. 2020-2021年度調査研究について
4. 「外国にルーツを持つ子ども」

1. 日本における定住外国人

総人口：1億2665万4244人（12年連続減少）

外国籍住民：281万2701人（前年度まで6年連続増加・Covid-19流行等のため減少）

→総人口の2.22%が外国籍（東京都：3.95% 大阪府2.84%）

兵庫県の外国籍住民数：11万3349人

→県人口の約2.05%が外国籍

（2021年1月時点・総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
兵庫県「県内在留外国人数」より）

2. 豊岡市における外国人市民の特徴と変化

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 (7月末)
全住民 (人)	88,895	88,234	87,474	86,690	85,759	84,828	83,943	83,179	82,043	80,952	77,456	76,817
外国人住 民(人)	580	543	531	511	502	520	567	699	734	845	793	809
比率 (%)	0.65	0.62	0.61	0.59	0.59	0.61	0.68	0.84	0.89	1.04	1.02	1.05

(2010-2020は全て年末時点・以下、住民基本台帳より)

より詳細な変動

2020年1月末 856人

↓減少

2020年9月末 738人

↓増加

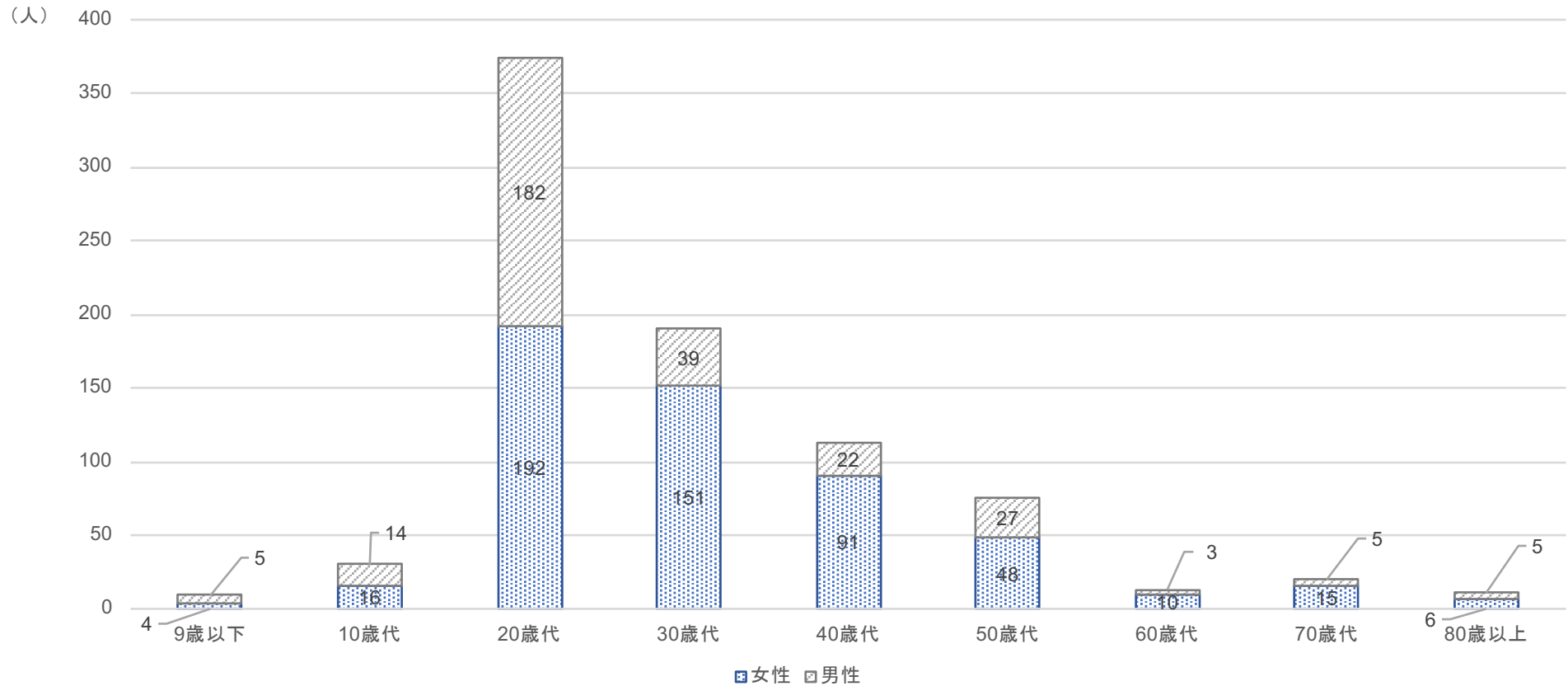
2021年1月末 807人

↓微増・微減

2021年7月末 809人(約1.05%)

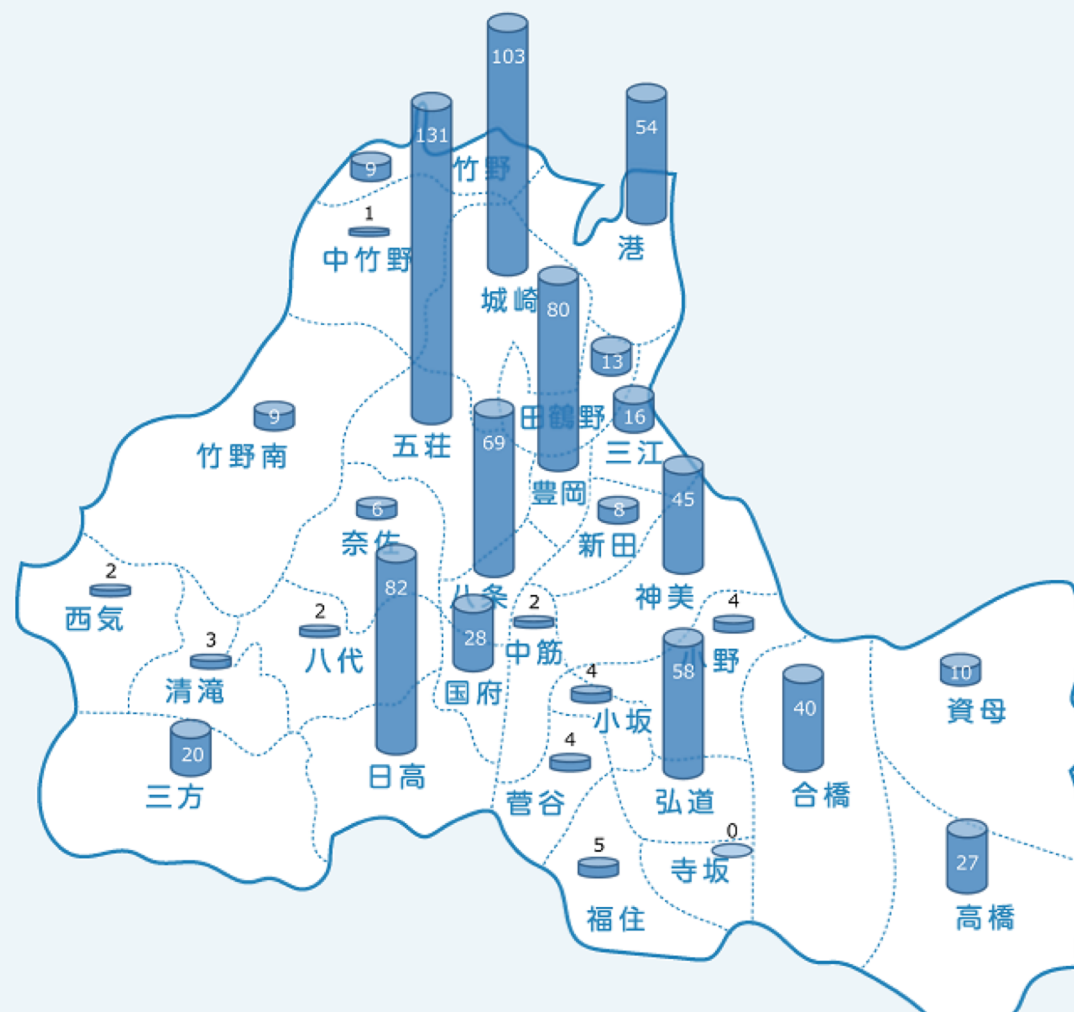
★コロナ禍により減少した外国人住民人口は回復傾向に

男女別年齢別外国人住民数



(2021年3月末時点・住民基本台帳データより: 政策調整課作成)

地区別外国人住民数

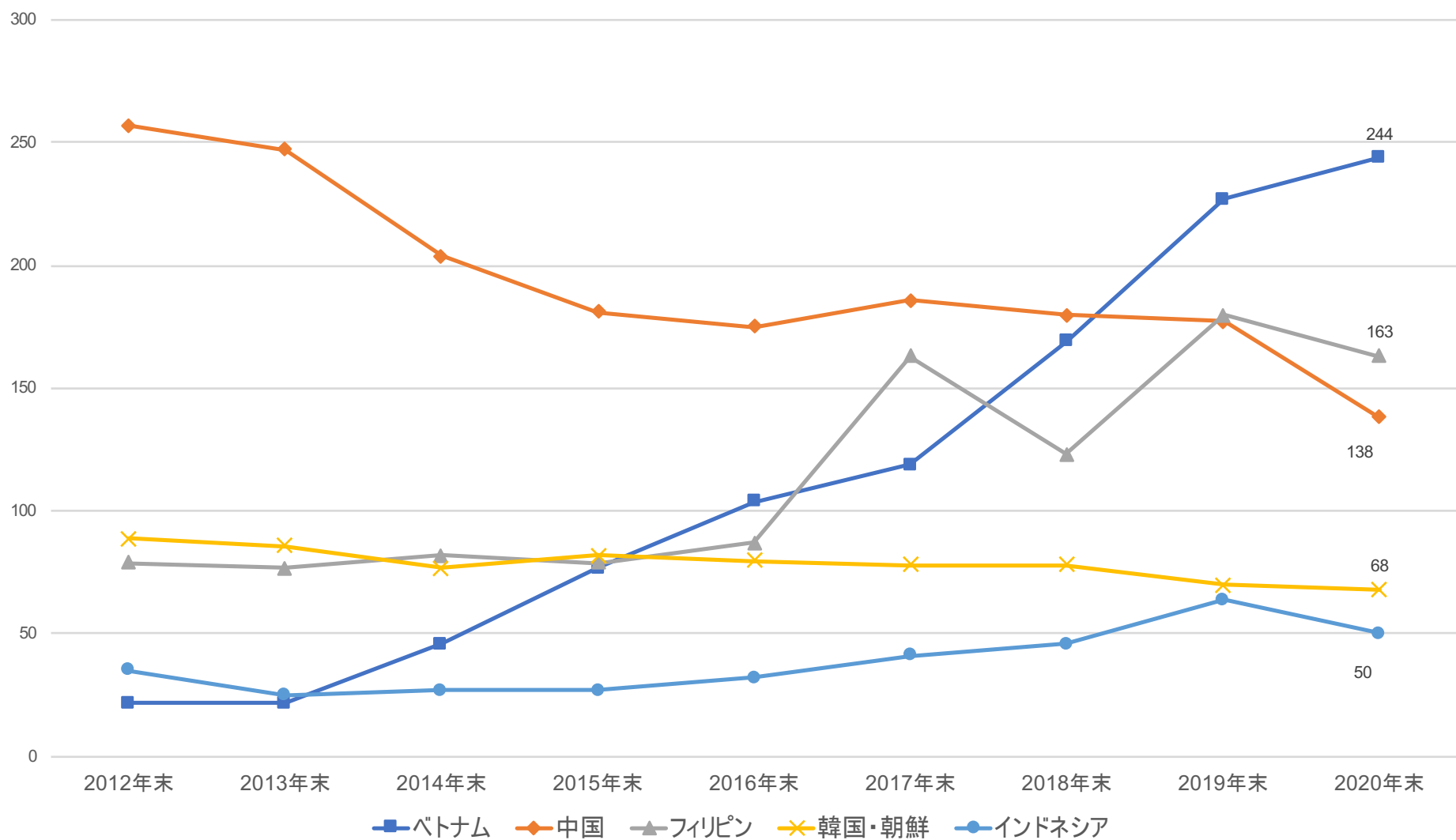


2021年3月末・政策調整課作成

国籍・地域別内訳

	2019年11月末人数（％）	2020年9月末人数（％）	2021年7月末人数（％）
ベトナム	225（27.1）	212（28.7）	260（32.1）
中国	185（22.3）	141（19.1）	133（16.4）
フィリピン	162（19.5）	160（21.7）	186（23.0）
韓国・朝鮮	68（8.2）	70（9.5）	66（8.2）
インドネシア	66（7.9）	50（6.8）	32（4.0）
台湾	30（3.6）	7（0.9）	10（1.2）
ネパール	14（1.7）	21（2.8）	38（4.0）
その他	81（9.8）	77（10.4）	84（10.4）
総数	831（100.0）	738（100.0）	809（100）

その他：タイ・米国・ミャンマー・ブラジル・オーストラリア等



(政策調整課作成)

在留資格別内訳

在留資格	2019年11月末人数（％）	2020年9月末人数（％）	2021年7月末人数（％）
技能実習	355 (42. 7)	265 (35. 9)	285 (35. 2)
特定活動・留学等	54 (6. 5)	66 (8. 9)	52 (6. 4)
教育・専門職等	77 (9. 3)	70 (9. 5)	100 (12. 4)
家族滞在	20 (2. 4)	20 (2. 7)	21 (2. 6)
永住者・配偶者等	199 (23. 9)	200 (27. 1)	220 (27. 2)
定住者	64 (7. 7)	56 (7. 6)	73 (9. 0)
特別永住者	62 (7. 5)	61 (8. 3)	58 (7. 2)
計	831 (100. 0)	738 (100. 0)	809 (100. 0)

国籍・地域別 主な在留資格

ベトナム	技能実習174人 技能・人文知識・国際業務（専門知識）29人、永住者・配偶者など14人
中国	永住者・配偶者など65人 技能実習43人
フィリピン	永住者・配偶者など104人、定住者63人、技能実習14人
韓国・朝鮮	永住者・特別永住者66人
インドネシア	技能実習27人（6月末43人）

地域社会の一員としての外国人市民

- ・ 「一時的な滞在者」と見なされがちな技能実習生を、「3～5年（あるいは特定技能への切り替えによってさらに数年）、豊岡で継続して生活を営む地域社会の一員」「帰国後、再び豊岡に戻ってくるかもしれない未来の市民」として位置づけ直す必要性。
- ・ また、長期滞在資格保有者についても、「放っておいても豊岡に住み続ける人」としてではなく「豊岡に住み続けてくれる市民」「放っておくと条件のよい地域に流出してしまうかもしれない層」「他地域から豊岡への移住を選択してくれる人々」として位置づけ直す必要がある。

3. 2020-21年度調査研究について

2019年度調査（豊岡市の外国籍住民の特徴と生活・就労、および外国籍者を雇用している事業所の把握を目的）の結果を踏まえて計画

- ・ **地域の現在と未来を担う貴重な人材**として外国人住民を位置づける。
- ・ その現状とニーズを、特に**育児と教育**に焦点を当て調査・分析を行う。
- ・ **「小さな世界都市」実現**（特に主要手段**4**および**6**）のための提言作成に資することを目的とする。

★2019年度調査結果は報告書および豊岡市ホームページにて公開

コロナ禍による調査研究計画の変更について

- ・ 2020年4月からの調査（聴き取り、視察など）を中止せざるをえなかったため、当面は文献・資料調査を中心とした。また、調査研究の完了のため、2021年12月末まで期間を延長した。
- ・ 状況がやや改善した2020年9月から12月にかけて、集中的な聴き取りを実施した。8月および翌3月にはZoomでの聴き取りも行った。
- ・ 2021年3月の報告会は中間報告とし、調査の進捗と分析を発表した。
- ・ 2021年度も、Zoomおよび対面での聴き取りを実施した。
- ・ 前回調査からの変化（コロナ禍の影響など）を分析するため、事業所を対象に追加調査を実施した。
- ・ 2021年12月に、最終報告書の公開を予定している（冊子およびホームページ）。

調査概要

- ・ 対象児童生徒が在籍している放課後児童クラブ、市立小・中学校への聴き取り調査
(教頭・担任・支援員など 合計20件)
- ・ 関連部局・組織および支援団体への聴き取り調査
- ・ 妊娠・出産・乳幼児育児にの現状や課題について健康増進課（保健師・栄養士、認定こども園）への聴き取り調査
- ・ 出産、育児、教育に関する文化的要因を明らかにするため、外国人母親への聴き取りを実施
- ・ 外国籍者を雇用している事業所に対し、雇用状況の変化について追加調査を実施
(41/53件)

→教育・保健関係者、支援組織、当事者に対するバランスの良い聞き取り調査を実現

4. 「外国にルーツのある子ども」

- ・ 親の両方あるいは一方が海外出身か外国籍である子ども
 - ・ 多文化のバックグラウンドを持つ子ども
- 必ずしも対象を適切に捉えた用語・定義ではないが、便宜的に使用。今回の調査では特に乳幼児と小中学生を対象とした。

Cf. 「外国につながる児童生徒」 （横浜市）

「外国につながる子ども」 （浜松市）

豊岡市における外国にルーツのある子どもの概要

総数 163名

→2021年6月末・前年度同月より5名増加。

→同世代人口のおよそ1.1%

- ・ 就学前 55名 (+10) 小学生 50名 中学生 25名 16-18歳 33名
- ・ 20小学校区に居住（特に豊岡小・五荘小・日高小校区）

豊岡市における外国にルーツのある子どもの概要

日本国籍 137名

- ・ 就学前 46名 小学生 46名 中学生 21名 16-18歳 24名
- ・ 親の国籍：フィリピン61名 中国28名 韓国19名
ベトナム13名 など
- ・ 親の在留資格：永住者・日本人の配偶者がほとんど

外国籍 26名

- ・ 就学前 9名 小学生 4名 中学生 4名 16-18歳 9名
- ・ 本人の国籍：フィリピン 9名 中国 8名 など
- ・ 本人の在留資格：家族滞在、定住者、永住者がほとんど

情報を聞くことができた児童生徒数

日本国籍 小学生 8/46名 中学生 16/26名

外国籍 小学生 5/5名 中学生 7/7名

(2020年度時点)

★日程調整などの関係で聴き取りができなかった小中学校があること、また私立など他の学校に通っている子どもが存在することから、各校区に居住する子ども全員の把握はできていない。また、放課後児童クラブでの聴き取りも行なっている。

乳幼児・就学前児童についての調査

- ・ 認定こども園（3件）
 - ・ 外国人母親・保護者など：フィリピン・中国・ベトナム出身者に聴き取りを行なった他、多文化共生プラン策定ワーキンググループにおいても実際の経験についてお話を伺った。
- ★今後も継続して追加調査を行い、最終報告書に反映する予定

高校生以上への調査

- ・ 日程の都合上まだ実施できていない
 - 外国にルーツをもつ若者が、自分のこれまでの体験をどのように位置づけ、これからの生活をどのように構想しようとしているかを調査
 - 広い意味での「進路」のありかたを探る試み
- ★今後調査を実施し、最終報告書に反映する予定